

主要事業の概要（30年度計画・実績）

資料 4

【 企画福祉課（調整・障害者班） 】

1 平成30年度の重点事業

- (1) 横手市との機能合体の推進
- (2) 精神保健福祉対策の推進
- (3) 保健・医療・福祉・環境情報の発信

2 事業内容

(1) 企画・調整

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績（31年1月末時点）
1 計画	(1) 第3期ふるさと秋田元気創造プランの進行管理 (2) 医療保健福祉計画の進行管理	第3期ふるさと秋田元気創造プランの推進と進行管理を行う。 医療保健福祉計画（平成30年度～平成35年度）の地域医療連携計画の現状把握と進行管理を行う。	
2 秋田県平鹿地域保健医療福祉協議会	地域における保健、医療、福祉、衛生及び生活環境に係る施策の総合的な推進を図るため、協議会を開催する。	秋田県平鹿地域保健医療福祉協議会及び各専門部会（地域医療推進部会、救急・災害医療検討部会及び献血推進部会）を開催する。	○秋田県平鹿地域保健医療福祉協議会 平成31年2月27日開催（予定） ○地域医療推進部会 平成31年3月開催（予定） ○救急・災害医療検討部会 平成31年2月5日開催（予定） ○献血推進部会 平成31年2月20日開催（予定）
3 横手市との機能合体	機能合体を更に進めるため、同種事業の共同開催を推進する。	(1) 子ども・子育て支援推進横手地区協議会の啓発事業（横手市及び市内子育てサークルと協同開催） ・期日：平成30年6月30日 ・会場：横手市交流センター Y ² ぷらざ (2) 保健師・栄養士業務研修会 ・目的：地域の健康課題の共有や連携強化を図る。 ・対象：管内の行政、病院、看護教育機関に勤務する保健師及び栄養士 ・開催回数：4回	(1) 子ども・子育て支援推進横手地区協議会の啓発事業（横手市及び市内子育てサークルと協同開催） ・期日：平成30年6月30日 ・会場：横手市交流センター Y ² ぷらざ ・参加者：496名 ※(5)子育て支援・少子化対策の推進に再掲 (2) 保健師・栄養士業務研修会の共同開催 3回開催（延べ109人参加） 4回目 平成31年3月1日開催（予定）

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
	<p>災害時における関係機関の被害状況を迅速かつ的確に確認するため体制を整える。</p>	<p>(3)環境監視員合同研修会の開催 秋田県と横手市の環境監視員の連携を深め、不法投棄の未然防止を図ることを目的に実施。</p> <p>「災害時における関係機関の被害状況確認に関する覚書」の実効性を高めるため、社会福祉施設を対象に被害状況報告訓練並びに横手市及び福祉環境部間の情報伝達訓練を実施 (被害状況報告訓練は、2回に分けて実施予定)</p>	<p>(3)環境監視員合同研修会の開催 ・期日：平成31年2月22日開催(予定) ・会場：クリーンプラザよこて ・内容：不法投棄等監視指導の現状について</p> <p>「災害時における関係機関の被害状況確認に関する覚書」の実効性を高めるため、社会福祉施設を対象に被害状況報告訓練並びに横手市及び福祉環境部間の情報伝達訓練を実施 期日：①平成31年1月16日 ②平成31年1月23日 対象施設数：77施設</p>
4 こども感染症情報発信事業	管内の感染症に関する情報を管内保育施設や関係機関に情報提供することにより、保育施設での感染症対策を支援し、関係機関との日常的な連携の強化をめざす。	「こども感染症情報」を管内の全保育施設と関係機関にFAX、メールにより情報提供及びホームページに掲載。	感染症の週毎のデータや発生動向の情報を提供 「こども感染症情報」を管内の全保育施設と関係機関にFAX、メールにより情報提供及びホームページに掲載。
5 「福祉環境だより」の発行	平鹿地域振興局福祉環境部の紹介、保健、医療、福祉、食品、環境衛生等の情報を広く住民に提供する。	「いでは福祉環境だより」を年1回全戸配布	「いでは福祉環境だより」を3月全戸配布(作成部数 33,300部)
6 医師臨床研修及び看護・栄養等学生実習	臨床研修医及び看護・栄養等関係学生を受け入れて研修を実施する。	<p>研修受入計画</p> <p>①医師臨床研修 市立横手病院 2人 平鹿総合病院 6人</p> <p>②看護系学生実習 県立衛生看護学院(保健科) 4人(5日間)</p> <p>③栄養士学生実習 仙台白百合女子大学 3人 尚絅学院大学 1人 聖霊女子短期大学 1人</p>	<p>研修受入状況</p> <p>①医師臨床研修 市立横手病院 2人(5日間) 平鹿総合病院 6人(5日間) 計 8人</p> <p>②看護系学生実習 県立衛生看護学院(保健科) 4人(5日間)</p> <p>③栄養士学生実習 仙台白百合女子大学 3人(5日間) 尚絅学院大学 1人(5日間) 聖霊女子短期大学 1人(5日間)</p>

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
7 各種統計調査	人口動態・衛生・生活等の状況を把握し、行政施策の基礎資料とするため各種調査を実施する。	人口動態調査 毎月1回 衛生行政報告例 4月 地域保健・健康増進事業報告 5月	人口動態調査 毎月1回 衛生行政報告例 4月 衛生行政報告例隔年報 2月 地域保健・健康増進事業報告 5月

(2) 老人福祉・介護保険

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
1 高齢者の保健福祉サービスの充実	介護保険施設、社会福祉施設等の指導・監査 (福祉政策課及び長寿社会課との合同実施)	介護保険施設 指定介護老人福祉施設 5施設	介護保険施設 指定介護老人福祉施設 5施設 社会福祉施設 養護老人ホーム 2施設
2 敬老祝い品進呈事業	百歳を迎える長寿者に対し、敬老の意を表し祝状及び記念品を贈呈し、併せて福祉の増進を図る。	国からの祝状及び記念品を対象者に贈呈予定	国からの祝状及び記念品を23人に贈呈

(3) 障害者福祉

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
1 在宅障害児者福祉に対する処遇の充実	手話通訳事業の推進	(1)手話通訳活動 (活動地域：平鹿・雄勝管内等) 随時 (2)手話教室開催 ①県民向け 2回 ②小学生向け 公募による ③企業・団体向け 公募による	(1)手話通訳活動 (活動地域：平鹿・雄勝管内等) 65件 (2)手話教室開催 小学生向け 平成30年9月21日 山内小(4年15名) 平成30年11月5日 横手南小(5年106名) 平成30年11月26日 十字第二小(4年15名)
2 各種手当等 特別障害者手当 障害児福祉手当	特別障害者手当 障害児福祉手当		受給者数 特別障害者手当 146人 障害児福祉手当 19人
心身障害者扶養共済	心身障害者扶養共済		加入者数 41人 内訳 年金受給者数 25人 掛金納付終了者 11人 掛金納付者 5人

(4) 精神保健医療対策

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
1 精神保健福祉の相談支援の充実 (1)精神保健福祉相談	精神障害者及び家族、地域住民を対象に相談を実施し、精神保健福祉の向上を図る。	①精神科嘱託医による相談 事前予約制 第2・4水曜日午後1時～3時 ②保健師による相談(来所・電話) 随時対応	精神保健福祉相談件数 実 78件 延421件 うち精神科医による相談 1件 ケア会議 実 1件 延 3件
(2)訪問指導等		訪問対象者 退院届による要訪問者 相談で訪問依頼のあった者等	訪問件数 実 20件 延 42件
(3)心神喪失者医療観察法	心神喪失者の地域生活の支援を図る。	ケア会議への出席及び処遇終了後の相談支援	ケア会議 対象者なし
2 社会復帰の推進 (1)精神障害者地域生活支援広域調整会議等事業	精神障害者の地域移行支援、地域生活を継続するための支援等を推進するため、各関係機関が広域的な調整のもと連携できる体制を構築する。	県南圏域精神障害者地域移行・地域定着推進協議会	県南圏域推進協議会 期 日：平成30年10月11日 参加者：29名
(2)社会とのつながり支援(職親)事業	ひきこもり状態の人へ社会参加の機会を提供するため、企業・事業所に職親登録の理解協力を依頼する。	対象者や家族、企業・事業所等へ社会参加に関する情報提供を行う。	協力事業所 管内2ヶ所(県内70ヶ所) 利用者なし
3 精神保健福祉普及啓発	心の健康、精神障害に関する正しい知識の普及を図り、地域社会の精神保健福祉に関する理解を深める。	①精神保健福祉に関する研修会等 対象：一般住民、民生児童委員、施設職員、病院職員、保健福祉関係者、家族、ボランティア等	①精神保健研修会開催 テーマ：「精神障害者の口腔ケアについて」 期 日：平成30年10月25日 場 所：横手セントラルホテル 参加者：37名 講 師：秋田県健康づくり推進課 歯科医師

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
		②精神障害者との交流会 対象：在宅精神障害者、家族 ボランティア等 内容：ワークショップ等	②ふれあい交流会開催 回数：3回 (7/20・9/21・12/21) 内容：加炊、調理実習、ワークショップ 参加者：在宅精神障害者、家族、 ボランティア等 72名
4 精神保健福祉関連団体への支援 (1)精神障害者並びに家族への支援	精神障害者や家族が団体の活動を通じて病状の安定や精神障害者の社会復帰促進が図られるよう支援する。	①ソーシャルクラブ(まんさくの会)への支援 内容：運営に関する助言、場所の提供、相談等 活動日：第3金曜日 午前10時～午後2時30分 ②横手地区精神障害者家族会「かまくら会」及び「ハート・かまくら」への支援 内容：学習会における助言や随時相談等	①ソーシャルクラブ(まんさくの会)への支援 支援回数：9回 参加者：実6名 延16名 ②横手地区精神障害者家族会「かまくら会」への支援 ●「ハート・かまくら」への支援 平成30年7月12日健康講話 素麺等販売への協力、支援
(2)断酒会への支援		横手断酒会への支援 内容：対象者の紹介、合同例会への参加・相談等	秋田県断酒連合会の紹介 第2・4日曜日 横手市女性センター
(3)精神保健福祉協会への支援		精神保健福祉協会横手支部への支援 支援内容：運営に関する支援等	理事会 平成30年9月27日 総・研 平成30年10月25日
5 自立支援医療受給者証の交付	精神障害者の通院医療を促進し、適正な医療を普及するため、費用の一部を公費で負担する。	自立支援医療受給者証の交付	自立支援医療受給者証交付件数 (新規) 137件 (更新) 802件
6 精神障害者保健福祉手帳の交付	本人の申請に基づき、一定の精神障害の状態にあることを証明する手帳を交付する。	精神障害者保健福祉手帳の交付	精神障害者保健福祉手帳交付件数 (新規) 57件 (更新) 186件
7 精神科救急医療体制整備事業	県南精神科医療圏における医療体制の円滑な運営を図るため、大仙・湯沢保健所と協力し会議を開催する。	秋田県精神科救急医療体制地域連絡調整会議(県南精神科救急医療圏)の開催(年1回)	秋田県精神科救急医療体制地域連絡調整会議(県南精神科救急医療圏) 日時：平成30年9月6日 場所：福祉環境部研修室

(5) 子育て支援・少子化対策の推進

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
<p>子育て支援対策の推進</p>	<p>子ども・子育て支援推進横手地区協議会による子育て支援対策の推進</p>	<p>横手地区における子育て支援に係る課題等について検討し、その解決のために協議する。 年3回(予定)</p> <p>県南3地区協議会合同会議 平成30年11月(予定)</p> <p>地域で子育てを支援する機運を盛り上げるため、横手市及び子育てサークル等と協同で啓発事業を実施する。 期日：平成30年6月30日 会場：横手市交流センター Y²ぷらざ</p>	<p>子ども・子育て支援推進横手地区協議会の開催(年3回) ①平成30年5月16日 ②平成30年8月30日 ③平成31年3月6日(予定)</p> <p>県南3地区協議会合同会議 平成30年11月29日</p> <p>ちびっこわくわくフェスティバル(横手市及び子育てサークルとの共催) 期日：平成30年6月30日 会場：横手市交流センター Y²ぷらざ 参加者：496名 内容：①高校生の子育てに関する意識の醸成 ・ブースの運営 ・スタンプラリー用紙デザイン ②参加者(保護者)を対象としたアンケートの実施</p>

【 企画福祉課（児童・生活保護班） 】

1 平成30年度の重点事業

(1) 母子父子寡婦福祉資金償還金に係る口座振替の普及

(2) DV防止キャンペーンの実施

(3) 生活保護の適正実施の推進

① 保護申請処理の迅速化と調査の徹底

② 不正受給防止対策の推進

③ 訪問調査の充実

④ 預貯金等の資産保有状況の適切な把握

⑤ 平成30年度基準改定への対応

(4) 母子父子寡婦福祉資金償還金及び生活保護費返還金に係る未収金の縮減

2 事業内容

(1) 児童福祉・健全育成

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績 (31年1月末時点)
1 児童相談ケースに対する処遇の充実	(1)児童巡回相談の実施	・南児童相談所と連携し、家庭・学校・保育所等の児童問題ケースの早期発見及び処遇の充実を図る。	巡回相談 26回 74件 (南福祉事務所受付分)
	(2)家庭児童相談室の運営強化	・家庭における児童養育の技術、人間関係、児童の福祉に関する事項の相談にあたる。	相談件数 (実人員) 119件

(2) 母子・父子・寡婦福祉

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績 (31年1月末時点)
1 母子・父子・寡婦世帯に対する自立支援	関係機関と連携し、母子・父子・寡婦世帯の自立に向けた支援を実施する。	・市町村、社会福祉協議会等と連携し、就業相談、生活相談等により、母子・父子・寡婦世帯の自立に向けた支援を行う。	母子世帯数 346世帯
			児童数 364人 (県南町村分、平成30年8月1日現在)
2 母子父子寡婦福祉資金の貸付	(1)母子父子寡婦福祉資金の貸付	・母子父子寡婦の経済的自立の支援と生活意欲を向上させるため、各種資金の活用を促進する。	相談件数 80件
			父子世帯数 74世帯 児童数 70人 (県南町村分、平成30年8月1日現在)
			貸付件数 49件

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績 (31年1月末時点)
3 児童扶養手当の支給	(2)母子父子寡婦福祉資金償還金に係る口座振替の普及	<ul style="list-style-type: none"> 口座振替利用者が全体の半数に満たないため、引き続き、その普及のための情報提供を行う。 	利用者数 231人
	(3)母子父子寡婦福祉資金償還金に係る未収金の縮減	<ul style="list-style-type: none"> 現在ある未収金の縮減のため、また、新たな未収金発生防止のため、市福祉事務所と連携し借主等の生活状況の把握に努める。 「業務担当者会議」の開催 	「業務担当者会議」の開催 平成30年4月26日
	児童扶養手当の支給	<ul style="list-style-type: none"> 請求に基づき、児童扶養手当を支給する。 	受給者数 290人 うち母子家庭 243人 うち父子家庭 43人 うちその他 4人

(3) 女性保護

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績 (31年1月末時点)
1 保護を必要とする女性に対する処遇の充実	関係機関と連携の上、保護を必要とする女性の早期発見並びに処遇の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 市町村、社会福祉協議会等との連携 強化によりDV（配偶者からの暴力）等の女性問題の早期発見並びに処遇の充実を図る。 (県南全域 4市2町1村) 	相談件数（延べ）451件 ※ 仙北地域振興局福祉環境部 駐在の女性相談員受付分を含む。
2 DV防止キャンペーンの実施	DV防止に関する県民の関心を高め、理解を深めるため、DV防止キャンペーンを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> DV防止のための研修会等の開催 街頭キャンペーンの実施 	配偶者暴力相談支援 ネットワーク会議 平成30年6月28日 (横手市、湯沢市、雄勝郡) 平成30年8月2日 (大仙市、仙北市・仙北郡) 街頭キャンペーンの実施 日時：平成30年11月14日 場所：イオンスーパーセン ター美郷店 参加者：8名

(4) 生活保護

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績 (31年1月末時点)
保護の適正実施の推進	<p>(1) 保護申請処理の迅速化と調査の徹底</p> <p>① 初期調査及び29条調査及び決定処理の迅速化</p> <p>② 他法他施策活用 of 徹底</p> <p>③ 扶養履行調査の徹底</p> <p>(2) 不正受給防止対策の推進</p> <p>① 稼働年齢層に対する求職状況申告の徹底</p> <p>② 収入申告の徹底</p> <p>③ 課税調査の実施</p> <p>(3) 訪問調査の充実</p> <p>① 訪問一覧表による年間訪問計画策定</p> <p>② 査察指導員による進行管理</p> <p>(4) 預貯金等の資産保有状況の適切な把握</p> <p>① 地区担当員による資産申告書徴取時期及び徴取状況の確認</p> <p>② 査察指導員による資産申告書徴取状況の把握</p> <p>(5) 平成30年度基準改定への対応</p> <p>① 重点支援の対象となる者の把握</p> <p>② 基準改定に対する支援</p>	<p>① 受理後2日以内調査の実施及び14日以内の決定処理</p> <p>② 年金受給の可否確認、自立支援給付該当可能性確認台帳の活用等</p> <p>① 就労支援員の活用ケース 10ケース選定</p> <p>② 家庭訪問による定期徴収</p> <p>③ 廃止ケースを含めた全ケース・6月</p> <p>① 年度当初に年間計画策定</p> <p>② 定期的に訪問計画一覧表を確認し長期間の未訪問を防止</p> <p>① 少なくとも12箇月ごとに申告させるよう年度当初に徴取時期の一覧を作成し、随時更新</p> <p>② 定期的に一覧を確認し、徴取漏れを防止</p> <p>① 基準改定による影響が大きい支援対象者の一覧を作成</p> <p>② 家庭訪問による改定内容の事前説明及び保護申請等の支援</p>	<p>新規申請処理状況</p> <p>申請 46件</p> <p>開始 29件</p> <p>却下 11件</p> <p>取下げ 5件</p> <p>未処理 1件</p> <p>就労支援員の活用ケース 12ケース選定 ・うち就労に至った者 3名</p> <p>課税調査件数 374件</p> <p>※ 保護世帯数 (保護率) (平成30年12月31日現在)</p> <p>美郷町 124 (7.5%)</p> <p>羽後町 117 (10.6%)</p> <p>東成瀬村 15 (6.3%)</p> <p>計 256 (8.7%)</p>

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
	(6)組織的な運営体制及び他機関との連携強化 ①現任訓練、職場内研修による職員のスキル向上を図る ②事業計画、訪問計画等の有効活用による計画的な運営管理の推進 ③査察指導機能の充実 (7)生活保護費返還金に係る未収金の縮減 ①未収金の新規発生の防止 ②現在ある未収金の縮減	①現任訓練の開催 月1回実施 ・ケース診断会議の開催(随時) ・各種研修会への参加 ②訪問計画書の有効活用 ③査察指導台帳の有効活用 ①収入や世帯状況変動等の申告の徹底 ②訪問、電話等により催告を強化	現任訓練 9回 ケース診断会議 44回

(5) 生活困窮者自立支援

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
生活困窮者に対する包括的・継続的支援の実施	(1)生活困窮者自立相談支援事業 ①生活困窮者の把握・相談受付 ②アセスメント・プラン策定 ③支援調整会議の開催 (2)生活困窮者住居確保給付金の支給 (3)生活困窮世帯の子どもに対する学習支援	①主任相談支援員を配置し、来所等による相談を受付 ②アセスメントを実施し、自立を促進するためのプランを策定 ③関係機関のプランの共有のため必要に応じ支援調整会議を開催 ・経済的に困窮し住居を喪失した者に家賃相当分の給付金を支給 ・高校進学のための基礎学力及び学習習慣を身につけるための学習支援を実施 実施町村：羽後町(集合型)	①相談件数 15件 ②プラン策定件数 2件 ③支援調整会議開催回数 なし 住宅確保給付金 支給件数 なし 学習支援事業の実施 期間：平成30年5月～ 会場：学習塾カロア(羽後町) 利用生徒数：15人

【 健康・予防課（健康・予防班） 】

1 平成30年度 健康・予防課重点事業

- (1) 心の健康づくり・自殺予防対策の推進
- (2) 生活習慣病予防の推進
- (3) 感染症予防対策の推進

2 事業内容

(1) 生活習慣病対策事業

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績 (31年1月末時点)
1 地域・職域連携推進協議会	平成20年度からの医療保険者によるメタボリックシンドローム概念を導入した特定健診・特定保健指導等の実施に向けて、関係機関と連携を図り、目標達成に向けた協議、調整の場として協議会を設置する。	(1)「地域・職域連携推進協議会」の開催(1回) 期日：平成30年12月 内容：特定健診、保健指導の状況について (2)地域課題研修会の開催(1回) 期日：未定 内容：未定	(1)「地域・職域連携推進協議会」の開催 期日：平成31年2月7日 出席者：21名 (市医師会、労働基準監督署、健診団体、事業所、横手市) 内容：特定健診・保健指導の実施状況について 協議：健(検)診の受診率向上対策について (2)地域課題研修会 期日：平成30年9月7日 参加者：65名 (地域・職域連携推進協議会委員及び職員等) 内容：講話「そもそも健康って何だろう」 講師：平鹿地域振興局福祉環境部長
2 たばこ・アルコール対策推進事業	たばこの健康影響及び適正飲酒について地域住民への普及啓発を図る。	(1)たばこ・アルコールに関する健康教育の実施 (2)禁煙週間における取組 ・ポスターの掲示 ・街頭キャンペーン 期日：平成30年6月1日 会場：JR横手駅構内等 (3)受動喫煙防止対策の啓発 ・街頭キャンペーン 期日：平成30年12月頃 会場：未定	(1)たばこ・アルコールに関する健康教育の実施 たばこに関する健康教育 日時：平成30年10月25日 参加者：20名 (2)禁煙週間における取組 ・ポスターの掲示 ・街頭キャンペーン 期日：平成30年6月1日 会場：JR横手駅構内等 内容：啓発用ティッシュ、パンフレットの配布 (3)受動喫煙防止対策の啓発 期日：平成30年10月20日、10月24日、10月31日 内容：講演会等の参加者へ啓発用ティッシュの配布

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績 (31年1月末時点)
<p>3 おもてなしと健康増進のための受動喫煙防止対策推進事業 (H30年度～新規)</p>	<p>喫煙者の割合が4割を超える30歳代から50歳代の喫煙率の減少と、住民の生活習慣病罹患率及び死亡率の低下を図ることを目的に受動喫煙防止対策に積極的に取り組むこととする。</p> <p>併せて、横手市を訪れる観光客への配慮を高め、本地域の魅力向上に努める。</p>	<p>(1)職場等における受動喫煙防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内飲食店、事業所等における受動喫煙防止対策の現状把握 (アンケート調査) <p>対象事業所数：約800ヶ所</p> <p>(2)普及啓発事業</p> <ol style="list-style-type: none"> ①受動喫煙防止に関する標語・ポスターデザインの募集 ②受動喫煙防止講演会の開催 ③普及啓発用リーフレットの作成・配布 	<p>(1)職場における受動喫煙防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙防止対策の現状把握 (アンケート調査) ・対象：717ヶ所 ・調査期間：平成30年7月～8月 ・回答数：259ヶ所 (36.1%) ・結果：敷地内禁煙 6.6% 建物内禁煙 31.3% その他の対策 40.2% 対策なし 22.0% <p>(2)普及啓発事業</p> <ol style="list-style-type: none"> ①受動喫煙防止に関する標語・ポスターデザインの募集 ・対象：小学校17校、中学校6校、高等学校6校、県立学校1校 ・応募件数：標語474点 ※ポスターデザインの応募なし ・審査会：平成30年10月9日 小学生、中学生、高校生の各部でそれぞれ最優秀賞1点、優秀賞2点を選定し、受動喫煙防止講演会の際に表彰式を実施 ②受動喫煙防止講演会の開催 日時：平成30年10月20日 場所：秋田ふるさと村ドーム劇場 参加者：67名 講演「タバコを止めて、あなたも私もハッピーライフ！」 講師：すずきクリニック 院長 鈴木 裕之 氏 ③普及啓発用リーフレットの作成・配布 受動喫煙防止リーフレット 15,000部作成 3月配布予定

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
4 生活習慣病予防教育事業	生活習慣病の予防等に関する知識の普及啓発を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の予防や健診の重要性に関する健康教育の実施 ラジオ放送依頼(よこてかまくらFM)健康増進普及月間について(平成30年9月) 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の予防に関する健康教育の実施 期日:①平成30年11月30日 ②平成30年12月12日 参加者:①28名 ②25名 ラジオ放送依頼(よこてかまくらFM)健康増進普及月間について(平成30年9月)
5 がん患者医療用補正具助成事業	がん治療に伴い医療用補正具(ウィッグ又は乳房補正具)を使用する方に対して、購入費用の一部を助成することにより、がん治療と就労や社会参画の両立、購入に伴う経済的負担の軽減を図る。 (H29年度~新規事業)	助成額:ウィッグ 1万5千円 乳房補正具 1万円 ※平成30年4月1日から一部改正 内容:前年度に購入した補正具も助成対象となる	申請:24名 ウィッグ 18件 乳房補正具 6件

(2) 心の健康づくり・自殺予防対策

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
心の健康づくり・自殺予防対策	すべての世代における自殺者の減少を目指し、積極的にこころの健康づくり・自殺予防対策を推進する。	(1)自殺予防ネットワーク会議 平成30年9月(1回) ・事業計画協議及び情報交換 (2)自殺予防ネットワーク研修会 ※県南地区で1回開催 30年度は仙北福祉環境部で実施 (3)自殺予防街頭キャンペーン(4回) ・平成30年6月、9月、12月 平成31年3月	(1)自殺予防ネットワーク会議 平成30年10月5日(30名) ・事業計画協議及び情報交換 (2)県南地区自殺予防ネットワーク研修会 ※30年度は仙北福祉環境部実施 平成30年9月6日(136名) 説明「職場におけるハラスメント防止について」秋田県労働局 説明「治療と職業生活の両立支援等について」大曲労働基準監督署 講演「職場のメンタルヘルス」 講師 秋田大学大学院 准教授 佐々木 久長 氏 (3)自殺予防街頭キャンペーン(4回) 平成30年6月1日(横手駅) 平成30年9月2日 (スパ-センター trusts 雄物川店) 平成30年11月30日 (イオスパ-センター横手南店) 平成31年3月3日(イオ横手店)予定

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
		(4)自殺未遂者支援会議 自殺未遂者支援に対する認識の共有化を図る 会議1回(平成30年9月)	(4)自殺未遂者支援会議 平成30年10月5日(30名) ※自殺予防ネットワーク会議と同時開催
		(5)県南地区自殺未遂者支援研修会 県南地区で年1回開催	(5)県南地区自殺未遂者支援研修会 ※30年度は雄勝福祉環境部で実施 平成30年11月29日(75名) 講話「救える命～自殺未遂者への対応～」 講師 秋田大学大学院 教授 中永 士師明 氏
		(6)心はればれゲートキーパー養成講座(講師)	(6)心はればれゲートキーパー養成講座(講師) 平成30年12月4日 市民、県職員 約40名
		(7)その他の普及啓発活動 ・マスコミの活用	(7)その他の普及啓発活動

(3) 歯科保健対策事業

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
1 歯科保健対策事業	(1)親子よい歯のコンクール 前年度の3歳児歯科健診において虫歯に罹患していない幼児とその親を他の模範として表彰する。	(1)親子よい歯のコンクール	(1)親子よい歯のコンクール地区審査会 期日：平成30年5月10日 対象：親子1組
	(2)8020いい歯のお年寄り表彰 8020を達成されているお年寄りを表彰し、歯の健康と食べることの重要性を普及啓発する。	(2)8020いい歯のお年寄り表彰	(2)8020いい歯のお年寄り表彰地区審査会 期日：平成30年9月20日 対象：26名(うち18名出席)

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
2 歯科保健医療推進事業	<p>(1) フッ化物洗口推進事業 平成16年度から県が実施してきたフッ素洗口事業の継続及び拡大を図るため、市町村等が実施するフッ化物洗口事業に対し技術支援を行い、当該事業の一層の推進を図る。</p> <p>(2) 8020運動推進特別事業 早期からの歯の喪失防止に向けた取組を推進するとともに、高齢者の口腔機能の維持・向上を図る</p> <p>(3) 口腔保健支援センター推進事業 県歯科口腔保健の推進に関する法律に基づき、各ライフステージに応じた歯科口腔保健指導等を実施し、県民の歯科口腔保健の支援及び推進を図る。</p> <p>(4) 「歯科口腔保健を軸とした生涯元気に暮らすあきた」推進事業 元気な高齢者が元気でいられるように歯科専門職に加え、関係職種が歯科保健関連の情報共有を行い、今後の効果的な事業実施に資する検討会を開催する。</p>	<p>(1) フッ化物洗口推進事業 ・ 歯科衛生士の派遣</p> <p>(2) フッ化物洗口等歯科訪問指導事業</p> <p>(1) 地域歯科保健課題解決推進事業</p> <p>(1) 歯科口腔保健指導の実施</p> <p>(2) 歯科口腔保健に関する普及啓発活動</p> <p>(1) 「歯科口腔保健を軸とした生涯元気に暮らすあきた」研修会</p>	<p>(1) 市町村会議への出席 2回 湯沢市：平成31年1月31日 羽後町：平成31年2月25日</p> <p>(2) フッ化物洗口等歯科訪問指導事業 ・ フッ化物洗口巡回指導 32回</p> <p>(1) 歯周病予防講演会 日時：平成30年12月11日 場所：横手市立吉田小学校 対象：PTA保護者及び職員 49名</p> <p>(1) 歯科口腔保健指導 乳幼児歯科相談・健診12回 歯科保健指導 56回 (内高齢者4回・障害者2回)</p> <p>(1) 「歯科口腔保健を軸とした生涯元気に暮らすあきた」研修会 期 日：平成30年11月9日 対象者：歯科医師、医師、看護師、保健師、歯科衛生士、言語聴覚士、栄養士、介護士、ケアマネ等 参加者：36名</p>

(4) 栄養改善推進事業

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
1 給食施設指導	給食施設の栄養及び衛生管理の実態調査・指導を行うとともに、研修会等を開催し、従事者の資質の向上を図る。	<p>(1) 個別指導 個別巡回指導予定：24施設 (対象給食施設数：66施設)</p>	<p>(1) 個別巡回施設数 11施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校等 : 5施設 ・ 病院等 : 4施設 ・ 老人保健施設 : 1施設 ・ 老人福祉施設 : 1施設 ・ 児童福祉施設 : 0施設 ・ 社会福祉施設 : 0施設

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
2 地区組織・人材育成事業	地域での健康づくりの担い手となる食生活改善推進組織の自主的活動の推進や 栄養士・調理師等の資質向上を図る。	<p>(2) 集団指導 給食施設関係者研修会の開催 開催時期：9月 内容：講義、事例紹介、演習等</p> <p>(1) 横手市食生活改善推進協議会事業への支援 ・理事会への出席 ・総会及び第1回研修会並びに第2回研修会への支援 総会：平成30年5月17日 ・食生活改善推進員養成講座への支援(2回) ①平成30年 8月 ②平成30年12月 ・その他情報、媒体の提供等</p>	<p>(2) 集団指導 ① 給食施設関係者研修会(県南3保健所合同) 期 日：平成30年8月22日 場 所：平鹿生涯学習センター 参加者：63名 内 容： 講演「県南地域の健康課題について」 平鹿地域振興局福祉環境部長 講演「給食施設の衛生管理について」 平鹿地域振興局福祉環境部環境指導課 情報提供① 「秋田県民の食生活指針について」 平鹿地域振興局福祉環境部健康・予防課 情報提供② 「塩分控えめ&野菜たっぷりメニューの紹介」公衆栄養学臨地実習 実習生4名</p> <p>(1) 横手市食生活改善推進協議会 ・理事会への出席 ・総会及び第1回研修会 期 日：平成30年5月17日 場 所：平鹿生涯学習センター 参加者：116名 内 容： 講話「糖尿病重症化予防に向けて」 高橋医院 院長 高橋 和彦 氏 ・第2回研修会(健康づくり講演会) 期 日：平成30年10月31日 会 場：平鹿生涯学習センター 参加者：108名 内 容： 講演「糖尿病連携手帳に歯周病の記載がある理由～生涯安全に美味しく食べて、楽しく話すために～」 健康づくり推進課 ・食生活改善推進養成講座 期 日：①平成30年 8月27日 ②平成30年12月17日 場 所：横手保健センター 受講者：①15名 ②16名 内 容： ①「国民・県民の健康の現状と生活習慣病予防について」 ②「食育推進と食生活改善推進員の役割について」</p>

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
3 地域における生活習慣病予防運動の推進	生活習慣病予防のため、減塩、野菜摂取、バランスのとれた食生活、禁煙、運動習慣などよりよい生活習慣の定着を推進する。	<p>(2)横手市栄養士連絡協議会への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会への支援 研修会：平成30年5月24日 その他情報、媒体の提供等 <p>(3)栄養改善保健所研修会の開催</p> <p>栄養士が担う地域栄養改善業務のより効果的な推進を図るため研修会を開催する。</p> <p>対象：県南3保健所(大仙・横手・湯沢)管内の行政及び在宅栄養士</p> <p>日時：平成30年9月</p> <p>内容：講話、情報交換、事例検討等</p> <p>(4)管内栄養士連絡協議会、調理師会等への協力、支援、情報提供</p> <p>(5)管理栄養士養成施設 学生実習受け入れ 3校 5名</p> <p>普及実践活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン <p>イベントでのパネル展示や啓発用ティッシュやパンフレットの配布</p>	<p>(2)横手市栄養士連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会 日時：平成30年5月24日 場所：旭ふれあい館 内容：秋田県民の食生活指針について <p>(3)栄養改善保健所研修会</p> <p>対象：県南3保健所(大仙・横手・湯沢)管内の行政及び在宅栄養士</p> <p>日時：平成30年9月4日</p> <p>場所：雄勝地域振興局福祉環境部</p> <p>参加者：21名</p> <p>内容： 報告「各市町村の食育事業・活動の実施状況」 演習「子どもと働きざかり世代の食習慣状況調査結果から課題を見つけよう！」 情報提供「調査結果からみえること～環境との関連性について考える～」 健康づくり推進課</p> <p>(4)管内栄養士連絡協議会、調理師会等への協力、支援、情報提供</p> <p>(5)管理栄養士養成施設 学生実習受け入れ 3校 5名</p> <p>普及実践活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン <p>期日：①平成30年6月1日 ②平成30年9月2日</p> <p>場所：①JR横手駅構内等 ②スーパーセンタートラスト 雄物川店</p> <p>内容：啓発用ティッシュ、パンフレットの配布</p>

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
4 食育推進事業	県民が生涯にわたって健全で豊かな食生活を送ることができるよう、家庭や学校、地域等関係機関との連携を強化し、食育の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 市町村食育推進計画への協力、支援 (1)食育推進協議会への出席 (2)食育地域ネットワーク会議の開催 日時：平成30年9月 内容：講話、協議、意見交換等 	(1)(2)食育地域ネットワーク会議 (横手市食育推進協議会と合同開催) 期 日：平成30年9月18日 場 所：平鹿地域振興局福祉環境部 参加者：16名 内 容： 話題提供「平鹿総合病院における食育の推進」 平鹿総合病院 栄養科 鈴木 真澄 氏 協議「食育の取組状況について」
5 健康・栄養調査	県民の食生活や生活習慣の状況把握、経年変化、全国との比較を行い今後の健康づくりや生活習慣病予防対策の推進に必要な基礎資料を得る。 ※健康秋田21計画、健康増進計画等各種計画の指標として活用。	(1)県民健康・栄養調査結果の啓発普及(改定版秋田県民の食生活指針の啓発普及) ・各種研修会、会議等での説明 ※国調査は毎年、県調査は5年毎 国調査地区指定は7月頃連絡(該当の時のみ)	(1)県民健康・栄養調査結果の啓発普及 ・各種研修会、会議等での説明 (2)改訂秋田県民の食生活指針の啓発普及 (3)国民健康・栄養調査の実施 ・該当なし

(5) 健康づくり事業

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
1 食の健康づくり 応援店事業	外食産業との連携による普及事業として、飲食店等での健康に配慮した食事メニューの提供や禁煙・分煙を実施する店舗の拡大のための啓発普及を行い、地域の食環境の整備を図る。	(1)啓発普及 ・各種研修会等での普及啓発 ・ちらし等の配布 等 (2)食の健康づくり応援店の認定 ・登録更新業務(継続) ・新規店舗の登録 (3)サポート体制の整備、充実 ・登録各店の登録状況の把握 ・環境整備(媒体作成・整備、健康関連情報等の提供、ホームページの更新等)	(1)啓発普及 ・各種研修会等での普及啓発 ・ちらし等の配布 等 (2)登録希望店との相談調整等 登録店数：43店 内訳：まごころサービス(35店) ヘルシーメニュー(9店) 栄養成分表示(8店) おいしい空間(28店) (3)啓発普及 チラシ配布、媒体、ホームページ作成
2 食品表示関係の 指導、助言 (健康増進法関係、食品表示法)	食品の栄養成分の情報提供食品販売において健康の保持増進効果について著しく事実と相違又は人を誤認させる広告の虚偽誇大な表示の禁止について指導助言する。	食品表示に関する相談・指導 内 容：栄養成分表示、虚偽誇大広告等	食品表示に関する相談・指導：10件 内 容 ・食品表示基準第3条(栄養表示基準の遵守義務) ・健康増進法第31条の1(誇大表示の禁止)

(6) 母子保健対策

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
1 幸せはこぶコウノトリ(不妊治療総合支援)事業	不妊治療を受ける夫婦に対して、治療に要する費用の一部の助成や不妊への理解を促進し、経済的・精神的な負担の軽減を図る。	<p>助成額：1回あたり20万円限度 初回に限り30万円(治療区分C,Fは10万上限有) 男性不妊治療は15万円</p> <p>※28年度から新制度へ移行。 (40歳未満の新規申請の場合、26年度から新制度適用。それ以外の場合、移行期間のため26・27年度は現行制度適用。) 新制度概要：対象年齢43歳未満 初回40歳未満→通算助成回数9回まで 初回40歳以上→通算助成回数3回まで等(いずれも治療期間の初日の妻の年齢で判断)</p>	<p>申請件数：実33組 延べ46件</p> <p>※21年度から10万→15万 ※23年度から1年度目は年3回まで、2年度目以降年2回を限度に通算5年度の助成。ただし、通算10回まで。 ※27年度から男性不妊治療助成拡充 ※28年1月20日から一部改正 内容：①新規、初回のみ30万円までの助成(治療区分C、F除く) ②男性不妊治療は、15万円/回(治療区分C除く)</p>

(7) 調査研究

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
1 調査研究 (1)がん研究開発費による「多目的コホートに基づくがん予防など健康の維持・増進に役立つエビデンスの構築に関する研究」の分担研究「コホート地域の住民調査(秋田県横手地域)」	<p>分担研究としてコホート地域の住民調査(秋田県横手地域)を実施する。</p> <p>1)多目的コホート研究 ○対象者 昭和5年～昭和24年生まれで、平成元年12月31日現在で旧横手市、旧雄物川町に住居登録していた方。 ○対象人数 15781名 ※平成30年9月12日現在 平成30年度班会議資料より</p>	<p>(1)班会議への出席 平成30年10月11～12日</p> <p>(2)「地域連絡会議」の開催 期日：平成30年10月24日 会場：横手セントラルホテル</p> <p>(3)追跡調査 ①死亡の確認と死因の把握 ②住所異動の有無の確認と異動先の把握 ③がん罹患情報の把握：地域がん登録 ④がん罹患詳細情報：医療機関</p>	<p>(1)班会議への出席 期日：平成30年10月11～12日 会場：国立がん研究センター 研究棟 大会議室 当保健所出席者 1名</p> <p>(2)地域連絡会議の開催 期日：平成30年10月24日 会場：横手セントラルホテル 出席者：61名</p> <p>(3)追跡調査 ①死亡一覧表による報告 平成29年分：297名 ②異動情報の報告 平成29年分：転出15名、転居91名、再転入3名 ③④は関係機関からがんセンターへ報告</p>

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
	<p>2) 次世代多目的コホート研究</p> <p>○対象者 横手市の住民基本台帳に登録されている、ベースライン(平成23年)時点で40~74歳の日本人男女。</p> <p>ベースライン調査における同意者: 28,928名 ※平成30年5月11日現在 中央事務局集計</p>	<p>(1) 5年後調査</p> <p>1) 対象等 対象: アンケート回答日または同意取得日から5±1年のベースライン調査同意者 時期: 平成30年5月~平成31年3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横手市特定健診(増田、雄物川、大森地域) ・協会けんぽ健診、人間ドック(市立大森病院) ・住民ベースアンケート調査(大雄、山内、横手(一部)、十文字(一部)) ・追加採血 平成30年10月27日(土)28日(日)、11月17日(土)18日(日)、平成31年3月9日(土)10日(日) <p>2) 依頼内容</p> <p>①生活習慣に関するアンケートへの回答 ②研究に同意の上、血液・尿の提供 3) 結果返却</p> <p>①アンケート回答へのクオカード ②栄養計算結果とがんリスク予測</p> <p>(2) 健診情報の把握 国保特定健診: 国保連から その他の健診: 健診実施機関から</p> <p>(3) 追跡調査</p> <p>①死亡・異動情報の把握 ②死因の把握 ③がん罹患情報の把握: 地域がん登録 ④がん・循環器疾患等罹患詳細情報(医療機関) ⑤国保・後期高齢者医療レセプト情報 ⑥介護保険情報</p>	<p>(1) 5年後調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横手市特定健診(増田、雄物川、大森) 平成30年5月~7月 総受診者: 1711名 アンケート提出: 1478名+α (α=後日提出分) 生体試料提供: 1490名(87.1%) ・協会けんぽ健診(市立大森病院) 平成30年4月~平成31年3月 総受診者: 704名 アンケート提出: 537名+α (α=後日提出分) 生体試料提供: 702名(99.7%) *平成30年12月分まで ・住民ベースアンケート調査(横手、十文字、山内、大雄) 平成30年9月~12月 アンケート送付: 5390名 アンケート提出: 4832名(89.7%) ・追加採血 平成30年10月27日(土)28日(日) 11月17日(土)18日(日) 生体試料提供: 509名(28.2%) *平成31年3月9日(土)、10日(日)実施予定 <p>(2) 健診情報の把握 関係機関からがんセンターへ報告</p> <p>(3) 追跡調査</p> <p>①死亡・異動情報の報告(平成29年分) ・転出79名、転居214名、再転入17名、死亡180名 ②死因の把握 ・死亡一覧表による把握(平成29年分)180名</p>

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
2 「多目的コホート研究」に基づく生活習慣病予防啓発事業	研究結果を、地域住民や関係機関へ情報提供し還元することにより、管内の生活習慣病の改善を図る。	『健康ひらか』生活習慣病予防講演会の開催 期日：平成30年10月24日 会場：平鹿総合病院 講堂	『健康ひらか』生活習慣病予防講演会の開催 期日：平成30年10月24日 会場：平鹿総合病院 講堂 演題：「がんを予防し健康寿命を延ばそう！～多目的コホート研究からわかったこと～」 講師：国立がん研究センター 社会と健康研究センター長 津金昌一郎氏 参加者：101名

(8) 感染症対策

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
1 結核予防対策事業 (1)患者管理	結核患者を適正な医療と適正な生活指導によって早期に社会復帰できるように指導するとともに、家族やその他の者への感染防止を図る。	(1)登録管理 (2)新登録患者への訪問指導及び地域DOTS対象者への訪問等指導の実施 (3)地域DOTS推進支援事業 ・県南地区DOTSカファルス 毎月1回 ・コホート検討会の開催 平成30年12月開催予定 (4)結核患者の精密検査及び接触者健康診断の実施 (5)定期病状調査事業	(1)平成30年12月末登録者数 20名 (内 潜在性結核感染症3名) 平成30年新登録患者数 5名 (別掲 潜在性結核感染症 1名) (2)訪問指導42件 うち地域DOTS 36件 (3)地域DOTS推進支援事業 ・県南地区DOTSカファルス9回 ・コホート検討会 期日：平成30年12月21日 (4)結核患者の精密検査及び接触者健康診断の実施 結核患者の精密検査 19件 家族・接触者健康診断 43件
(2)感染症診査協議会結核部会	法に基づき就業制限、入院勧告、医療費公費負担等について保健所からの諮問に応じた必要事項を審議	感染症診査協議会結核部会開催 定例部会 毎月第4金曜日 他緊急時随時開催	感染症診査協議会結核部会 開催12回(内緊急開催3回) 平成30年度諮問件数 22件 諮問答申件数内訳 入院勧告：10件 就業制限：3件 37条の2医療：9件

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
(3)結核発生動向調査事業	結核に関する情報をオンラインシステムにより全国規模で収集、解析還元する。	データの入力及び還元	データの入力及び還元
(4)結核予防思想の普及啓発	結核予防の正しい知識の普及啓発を図る。	(1)結核予防週間前後における啓発ポスター掲示 (2)老人福祉施設等従事者研修事業出前講座の実施 適宜 管内施設への啓発資料の配布	(1)結核予防週間(9月24日～30日) ・結核予防街頭キャンペーン(9月2日) ・ポスター掲示 (2)老人福祉施設等従事者研修事業出前講座 5施設
2 感染症予防対策 (1)感染症予防啓発事業	感染症予防の正しい知識の普及啓発を図るため情報提供を行う。	(1)情報の提供 インフルエンザ等に関する情報の提供(感染症サーベイランス情報等の提供、ホームページのインフルエンザ情報の掲載) (2)予防啓発(健康教育等) 随時	(1)感染症サーベイランス情報の提供 (2)予防啓発 ①健康教育 実施回数:11回 対象:高齢者・障害児者施設・保育所職員等 内容:ノロウイルス、インフルエンザ、結核等 ②社会福祉施設における感染症対策研修会の開催 期日:平成30年12月6日 対象:高齢者・障害児者入所施設 参加:17施設27名 内容:講話及び施設内ラウンドとマニュアルのチェック 講師:市立横手病院 感染管理認定看護師 小川伸氏
(2)感染症まん延防止対策	入所・通所施設での集団発生予防のための指導等を継続実施し、感染症発生によるまん延防止を図る。	・患者発生に伴う疫学調査の実施	・積極的疫学調査 感染性胃腸炎 4件 腸管出血性大腸菌感染症 6件 レジオネラ 1件 E型肝炎 1件 A型肝炎 1件 風しん 2件 風しん疑い 1件 つつが虫病 1件 呼吸器感染症 2件 インフルエンザ 4件 麻しん疑い 3件 麻しん接触者 1件

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
3 新型インフルエンザ対策	新型インフルエンザの感染予防啓発と、発生時の地域体制の整備を図る。	管内対策の検討 ①地域連絡会議の開催 ②所内体制整備 ・新型インフルエンザ対応所内体制 ・鳥インフルエンザ対応所内体制	(1)管内対策の検討 ①地域連絡会議 期日：平成31年1月16日 内容：協議「秋田県新型インフルエンザ横手地域対応手順書について」 ②部内研修会 期日：平成30年10月3日、16日 内容：講話、演習 参加：職員32名
4 ウィルス性肝炎対策事業	肝炎ウイルスに感染又は感染の可能性の高い方が、自らの感染の有無を知り必要な医療を受けられるよう、情報の提供及び相談検査を行う。	(1)知識啓発普及 (2)相談(随時) (3)肝炎ウイルス(B型・C型)検査 毎月第2月曜日 (10:00~11:30)	(1)情報の提供・広報等の掲載 (2)相談(随時) 29件 (3)肝炎ウイルス検査実施数 25件
5 HIV 予防対策 (1)HIV 予防普及啓発事業	エイズに対する正しい知識の普及啓発を図る。	(1)HIV検査普及週間 (6月1日~7日) 街頭キャンペーン (6/1 JR横手駅構内) 検査時間の拡大 6/11 (2)世界エイズデー関連事業の実施 街頭キャンペーン開催 検査時間の拡大 (3)青少年等に対する健康教育 随時 (4)福祉環境部だより・市町村広報の活用・FMラジオの活用	(1)HIV検査普及週間街頭キャンペーン (平成30年6月1日 JR横手駅構内) FMラジオ放送(6/1~6/6) 市報掲載 ・検査時間の拡大 6/11 (2)世界エイズデー街頭キャンペーン (平成30年11月30日 イオンスーパーセンター横手南店) 市報掲載 FMラジオ放送(11/30~12/7) ・検査時間の拡大 12/10 (3)HIV・性感染症健康教育 実績なし (4)福祉環境部だよりにて普及啓発 (H31年3月発行 予定)
(2)検査及び相談指導体制の充実強化	HIV 個別相談・検査の実施	(1)HIV 即日相談・検査 毎月 第2月曜日 日中10:00~11:30 夜間17:30~19:00 (2)随時相談への対応 (3)サイトにおける検査事業のPR	(1)HIV 相談・検査 29件 (日中17件 夜間12件) (2)電話相談9件 (3)保健所HIV相談・検査のPR 市広報誌でのPR FMラジオでのPR

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
6 性感染症対策	性感染症検査の実施。	「IIX」相談・検査事業」と併せ、希望者に性感染症検査を行う。 検査項目：性器クラミジア感染症 梅毒	性感染症検査 ・性器クラミジア感染症 26件 ・梅毒 29件
7 ハンセン病対策	ハンセン病の正しい知識の普及啓発及び患者支援。	(1)啓発普及 (2)市町村広報誌の送付	(1)啓発普及 パンフレットの配布等 (2)市町村広報誌の送付

(9) 肝炎治療特別促進事業

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
肝炎治療特別促進事業	肝炎ウイルスの感染による肝硬変や肝がん等への進行を防ぐため、経済的負担の軽減を図り、早期治療の促進のため、インターフェロン、インターフェロンフリー治療及び核酸アナログ製剤治療に係る医療費を助成する。	対象者 B型・C型ウイルス性肝炎患者でインターフェロン、インターフェロンフリー及び核酸アナログ製剤による治療が必要と認められる者(核酸アナログ製剤治療は、平成22年4月1日～)	申請件数 79件 受給者証交付数 78件

(10) 難病対策

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
1 治療体制の確立 (1) 特定疾患等治療研究事業	原因が不明であって、治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、特定疾患については、治療がきわめて困難であり、かつ、その医療費も高額であるので、特定疾患治療研究事業を推進することにより、特定疾患に関する医療の確立、普及を図るとともに、患者の医療費の負担軽減を図る。	(1) 小児慢性特定疾病 (16疾患群756疾患) ※平成30年4月1日～ (2) 指定難病 (331疾患) ※平成30年4月1日～ (3) 先天性血液凝固因子障害 (4) スモン	(1) 申請件数 ① 小児慢性特定疾病 96件(内新規16件) ② 指定難病 629件(内新規56件) ③ 先天性血液凝固因子障害 なし (2) 年度末受給者 ① 小児慢性特定疾病 92名 ② 指定難病 556名 ③ 先天性血液凝固因子障害 なし ④ スモン 2名
(2) スモンに対する はり、きゅう及び マッサージ治療 研究事業	スモン患者のはり、きゅう又はマッサージに要する施術費用の負担軽減を図るとともにはり等による治療の確立、普及を図る。		申請件数 更新申請1件

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
2 療育相談事業 (1) 難病患者・家族相談支援事業	難病患者及びその家族に対し相談を実施し、生活・療養を支援する。	(1) 治療申請時等の相談指導 (2) 訪問希望者への訪問 (3) 医療相談事業の開催	(1) 相談指導 延 8件 (小慢を含む) (2) 訪問指導 3件 (小慢を含む) (3) 医療相談事業 難病医療相談会 ①平成30年7月25日 内容：音楽療法 講師：日沼育子 氏 参加：6名 ②平成30年9月5日 内容：講話・実演 講師：県立リハビリテーション ・精神医療センター PT須藤恵理子氏 参加：14名
(2) 難病在宅療養支援計画策定・評価事業	個々の療養の実態に応じ、在宅療養支援計画を作成し、各種サービスが包括的・継続的に提供できるよう調整を図る。	ケア会議の開催	在宅人工呼吸器装着患者ケア会議の開催 期日：平成30年10月30日 場所：療養者宅 参加：12名
3 骨髄提供希望者登録推進事業	骨髄提供希望登録事業に関する普及啓発及び集団登録等事業の実施。	(1) 普及啓発：ポスター提示 (2) 希望者登録受付 (毎月第2月曜日10～11時) (3) 骨髄バンク集団登録事業 集団登録キャンペーン開催予定 (10月に1回)	(1) 普及啓発：ポスター掲示 (2) 骨髄提供登録件数 3件 (集団登録キャンペーン実績) (3) 骨髄バンク集団登録キャンペーン 平成30年10月14日(横手市)
4 アスベスト健康被害相談事業	アスベスト(石綿)健康被害救済制度認定申請者に対する相談及び申請事務に対応。	アスベスト(石綿)健康被害救済制度認定申請者に対する相談に対応する。	・アスベスト(石綿)健康被害救済制度認定申請者に対する相談 なし

(11) 医務・薬務関係

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
1 薬事・毒物劇物関係監視指導	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律及び毒物劇物取締法に基づき、薬局・医薬品等販売業及び毒物劇物取扱施設を、適正に管理運営させるために、監視指導を行う。	監視指導対象施設及び目標数 ①薬局 : 58施設(目標20) ②卸売販売業 : 13施設(目標10) ③店舗販売業 : 21設(目標10)	薬事及び毒物劇物関係監視指導件数 ①薬局 (目標 20件・実績 14件) ②卸売販売業 (目標 10件・実績 3件) ③店舗販売業 (目標 10件・実績 4件)

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
2 麻薬・覚醒剤を取扱施設に対する立入検査	麻薬及び向精神薬取締法、覚せい剤取締法に基づき、麻薬及び覚醒剤等の取扱施設を、適正に管理運営させるために監視指導を行う。	④薬局等製造業：11施設(目標6) ⑤配置販売業：4施設(目標4) ⑥高度管理医療機器販売貸与業：67施設(目標10) ⑦毒物劇物販売業者78施設(目標33) (1)検査対象施設及び目標数 ①麻薬診療施設40施設(目標11) ②麻薬卸売業者及び麻薬小売業者56施設(目標21) ③向精神薬取扱施設 薬局等薬事監視指導及び麻薬診療施設(病院)立入検査と並行して実施する。 (2)覚醒剤関係立入検査 薬局等薬事監視指導及び麻薬診療施設(病院)立入検査と並行して実施する。	④薬局等製造業(目標6件・実績2件) ⑤配置販売業(目標4件・実績0件) ⑥高度管理医療機器(目標10件・実績3件) ⑦毒物劇物販売業者(目標33件・実績4件) (1)麻薬関係立入検査件数 ①麻薬診療施設(目標11件・実績9件) ②麻薬卸売業者・小売業者(目標21件・実績19件) ③向精神薬取扱施設(実績26件) (2)覚醒剤関係立入検査件数 覚醒剤原料取扱者(実績14件)
3 薬とくらしの教室	薬に対する正しい知識と飲み残しや重複投与を防ぐため「かかりつけ薬局」の必要性を普及させるとともに、医薬品等に対する情報の提供・収集を目的とする。	市町村・各種団体等の希望する内容に基づき実施する。 実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日	薬とくらしの教室開催6回 医薬品の安全性・有効性等について情報提供を行った。
4 薬物乱用防止対策事業	(1)不正大麻・けし撲滅運動 大麻・けしについて正しい知識を住民に対して啓発し、不正栽培及び自生の大麻けしを撲滅する。	(1)ポスター・リーフレットを関係機関及び重点地区に配布し、啓発を図る。 (2)実施期間：平成30年6月1日～7月31日	(1)ポスター・リーフレットを関係機関及び重点地区に配布、啓発を行った。 (2)実施期間：平成30年6月1日～7月31日

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
	<p>(2)「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 横手平鹿地域の覚醒剤等薬物乱用防止指導委員、各種協力団体、学生等官民一体となって、街頭キャンペーン等を行うことによって、地域住民に薬物乱用防止に関する理解と認識を高めるとともに、薬物乱用のない明るい環境づくりを推進することを目的とする。</p> <p>(3)麻薬・覚醒剤乱用防止運動 麻薬・覚醒剤等の乱用による危害を広く一般に周知させ、県民一人ひとりの認識を高めることにより、乱用による危害の根絶を期する。</p>	<p>(1)6・26ヤング街頭キャンペーン (平成30年7月上旬実施予定) 若人が中心となり、覚醒剤等薬物乱用防止指導員や各ボランティア団体も加わり、「ダメ・ゼッタイ国際協力で薬物乱用をなくしましょう。」を合い言葉に街頭キャンペーンを行う。併せて募金活動も実施する。</p> <p>(2)地域団体キャンペーン 医療機関、薬局、理・美容、クリーニング業、旅館業高等学校等の参加協力を得て、待合室・店頭等にポスターやシールを掲示するほか、薬物乱用防止の「一声運動」を行う。併せて募金活動も実施する。 実施期間：平成30年6月20日～7月19日</p> <p>(3)職域募金活動 公的機関をはじめ各種職域を対象として募金活動を実施する。 実施期間：平成30年6月20日～7月19日</p> <p>(4)浄財金の運用 募金については、(財団法人)麻薬・覚醒剤乱用防止活動に従事する民間団体(NGO)の活動資金として運用される。</p> <p>(5)シンナー等販売業者に対する指導 シンナー等有機溶剤が乱用されることのないように、これらを販売するスーパー・塗料店・自転車点等を対象として、その販売状況及び実態調査並びに適正な保管・管理及び販売・譲渡の指導を行う。</p> <p>(実施項目) (1)協議会による街頭キャンペーン (2)啓発ポスター・リーフレットの配布 (3)乱用防止啓発広報車の活用 (4)実施予定期間 平成30年10月1日～11月30日</p>	<p>(1)ヤングボランティアを中心に、啓発用のパンフレット・きず絆創膏ポケットティッシュ等を配布し麻薬・覚せい剤等薬物乱用防止の「一声運動」を行い啓発に努めた。 実施日：平成30年7月7日(土)</p> <p>(2)地域団体キャンペーン 平成30年6月20日～7月19日 参加施設数：111施設</p> <p>(3)職域募金活動 平成30年6月20日～7月19日 参加施設(団体)数：16施設</p> <p>(4)浄財金の運用 募金は、開発途上国等で薬物乱用防止活動に従事している民間団体(NGO)の活動資金として国連を通じて運用される。</p> <p>ライオンズクラブ等に啓発用資材として、のぼり・リーフレット・ポケットティッシュ等の貸出を行った。</p> <p>薬物乱用防止啓発ポスターコンテスト (参加校)横手市立明峰中学校 横手市立平鹿中学校</p>

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
5 立入検査	病院について各種法令等に規定された事項を確認し、必要に応じて改善を指導することにより、病院の医療環境をよりいっそう充実させ、住民サービスの向上させるとともに地域医療提供体制の確保することを目的とする。	立入検査対象予定施設 病院：4件 有床診療所：1件 実施予定期間 9月～12月	立入検査実施施設 ・病院 市立大森病院 平成30年11月8日 市立横手病院 平成30年11月15日 横手興生病院 平成30年11月21日 平鹿総合病院 平成30年11月27日 ・有床診療所 高橋耳鼻咽喉科眼科クリニック 平成30年10月9日
6 医務関係許可等	医療機関等の申請等に対し各種法令に基づき適正な指導を行う。	(1)病院、診療所、助産所、施術所、歯科技工所等の開設許可及び変更等届出の受理 (2)医療法人の設立・定款変更認可等の受理	(1)受理件数 151件 (2)受理件数 71件
7 小児救急医療啓発事業	乳幼児の保護者等に対して、小児の急病時の対応方法等についての講習会を実施するとともに、急病対応ガイドブックを配布することにより、小児の急病時における知識の普及啓発を目的とする。	(1)小児救急医療保護者講習会の実施 (2)急病対応ガイドブック等の配布	(1)小児救急医療保護者講習会(3回) 横手幼児園 平成30年10月6日 吉田保育所 平成30年10月27日 金沢保育園 平成31年1月26日 (2)小児救急医療保護者講習会の参加者に配布(100部)
8 救命講習会及び救命救急研修会	家族など身近な人が重篤な傷病を負った際に、救急車がくるまでの間に適切な救急手当の知識・必要性を県民に普及する。	AEDによる救命講習会の開催	AEDによる救命講習会の開催 開催なし

(12) 献血関係

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)																			
献血の推進	県内の医療機関で必要とするすべての血液製剤を献血で確保する。	(1)目標及び実績 <table border="1" data-bbox="683 1572 1417 1774"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目 / 種別</th> <th>200 mL</th> <th>400 mL</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30.4</td> <td>目標 A</td> <td>—</td> <td>1,920</td> <td>1,920</td> </tr> <tr> <td>?</td> <td>実績 B</td> <td>147</td> <td>1,740</td> <td>1,887</td> </tr> <tr> <td>H31.1</td> <td>達成率B/A</td> <td></td> <td>90.6%</td> <td>98.3%</td> </tr> </tbody> </table> 200mL献血に関しては、秋田県全体として若年者層を対象とした目標値を設定することとし、保健所別には設定しない。 (2)30年度献血啓発事業計画 平成30年7月1日～31日 愛の献血助け合い運動 平成31年1月～2月 はたちの献血キャンペーン		項目 / 種別	200 mL	400 mL	計	H30.4	目標 A	—	1,920	1,920	?	実績 B	147	1,740	1,887	H31.1	達成率B/A		90.6%	98.3%
	項目 / 種別	200 mL	400 mL	計																		
H30.4	目標 A	—	1,920	1,920																		
?	実績 B	147	1,740	1,887																		
H31.1	達成率B/A		90.6%	98.3%																		

(13) 原爆被爆者対策

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
原爆被爆者対策	被爆者健康手帳所持者に、一般健康診断、がん検診、健康相談を行う。	健康診断、健康相談 時期：平成30年7月、11月 場所：平鹿総合病院 内容：一般健康診断、がん検診、健康相談	健康診断、健康相談 期日：平成30年8月2日 平成30年11月26日 場所：平鹿総合病院 内容：一般健康診断、がん検診、健康相談 被爆者手帳所持者：3名 受診者数/対象者数(受診率) 8月2日 2名/4名(50%) 11月26日 1名/3名(33%)

【 環境指導課 （環境・食品衛生班） 】

1 平成30年度の重点事業

- | | |
|------------|-----------------|
| (1) 環境公害関係 | ・不法投棄未然防止啓発活動事業 |
| (2) 食品衛生関係 | ・食品安全啓発事業 |

2 事業内容

(1) 環境衛生関係

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
1 特定建築物の衛生的環境指導	①室内空気環境、貯水槽管理状況等の監視指導 ②クーリングタワー等のレジオネラ属菌検査実施	① 3施設 ② 平成30年度該当なし(実施保健所持ち回り)	① 特定建築物なし、登録事業者2業者 ② 特定建築物：平成30年度該当なし(実施保健所持ち回り)
2 遊泳用プール指導	秋田県遊泳用プール衛生管理等指導要綱に基づく監視指導	1施設	1施設
3 有害家庭用品試買検査	乳幼児用繊維製品、家庭用エアロゾル製品等に含まれる有害成分の検査(検査機関 健康環境センター)	平成30年度該当なし(実施保健所持ち回り)	平成30年度該当なし(実施保健所持ち回り)

(2) 温泉関係

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
温泉保護対策の推進	温泉の保護と適正利用のための調査指導	温泉利用許可施設の調査指導 ①許可申請調査 随時 ②温泉掲示等の指導等 1施設	① 1施設 ② 1施設

(3) 水道

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
水道施設の整備促進	水道普及率向上のため、中小規模水道の統廃合及び新規水道施設の整備促進を行う。	(1)簡易水道施設整備事業 なし (2)生活基盤施設耐震化事業 十文字地区、平鹿地区、大雄地区、雄物川地区【以上：継続】 (3)水道水源開発等施設整備事業 成瀬ダム建設【継続】	(1)簡易水道統合整備事業 矢神地区、山内南地区【以上：継続】 (2)生活基盤施設耐震化事業 十文字地区、平鹿地区、大雄地区【以上：継続】 雄物川地区【新規】 (3)水道水源開発等施設整備事業 成瀬ダム建設負担金

(4) 廃棄物

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績 (31年1月末時点)
1 一般廃棄物適正処理の推進	一般廃棄物について、横手市と連携を図りながら適正処理を推進するとともに、処理施設の監視指導を行う。	(1)一般廃棄物処理施設の監視指導 ①し尿処理施設 延べ1施設 ②ごみ処理施設 延べ2施設 ③最終処分場 延べ3施設	(1)監視指導 ① 延べ1施設 ② 延べ2施設 ③ 延べ3施設
2 産業廃棄物適正処理の推進	産業廃棄物の適正処理を推進するため、排出事業所、処理業者の監視指導を行う。	(1)産業廃棄物排出事業所等の調査及び監視指導 ①特管産業廃棄物排出事業所 延べ22事業所 ②産業廃棄物処理施設：延べ38施設 ③産業廃棄物収集運搬業者及び再生利用業者：延べ6業者 (2)産業廃棄物処理業者等の許可件数	(1)調査及び監視指導 ① 延べ39事業所 ② 延べ39施設 ③ 延べ12業者 (2) 50件

(5) 水質汚濁、大気汚染防止

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績 (31年1月末時点)
公害防止対策	環境及び発生源の監視指導により、公害の防止を図る。	(1)工場・事業所の監視指導 ①大気関係 27施設 ②水質関係 84施設 ③ダイオキシン関係 7施設 (2)地下水水質検査 (トリクロロエチレン等の調査) 5件 (3)公害苦情に係る相談	(1)監視指導 ① 48施設 ② 80施設 ③ 12施設 (2)水質検査 5件 (3)相談件数 4件

(6) 環境保全

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績 (31年1月末時点)
1 不法投棄未然防止啓発活動事業	廃棄物の不法投棄を未然に防止するため、横手市等関係機関と連携して監視と啓発を行う。	(1)環境監視員(3名)による巡回監視 監視日数 約130日を予定 (2)不法投棄未然防止啓発活動事業 ①横手地域不法投棄防止対策協議会の開催 ②監視カメラの設置 ③不法投棄廃棄物撤去啓発事業の実施 (3)県境地域合同不法投棄パトロール	(1)環境監視員(3名)による巡回監視 監視日数 124日 (2)不法投棄未然防止啓発活動事業 ①平成30年7月19日(木)開催 ②横手市内 延べ5か所に設置 ③横手市十文字町睦合 計2か所実施 (平成30年10月3日) 撤去物量：2,420kg(廃プラ、不燃ごみ、タイヤ91本他) (3)県境地域廃棄物不法投棄対策合同会議に 合わせて平成30年10月24日に実施
2 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	市町村と連携を図りながら、廃棄物排出量の削減及びリサイクルを推進する。	(1)廃棄物ダイエット推進事業 事業系一般廃棄物の削減に焦点を絞り、紙ごみ等のリサイクルを推進する。 (2)リサイクル製品認定制度の普及	(1)ブロック別ごみゼロあきた推進事業 事業休止 (2)リサイクル製品認定制度の普及

(7) 食品衛生関係

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績 (31年1月末時点)
<p>1 食品衛生監視指導の強化</p>	<p>食品営業施設等からの食中毒を未然に防止するとともに不良食品等を排除するため、重点監視対象施設を中心に監視する。</p> <p>また、特別監視期間、重点指導事項を定め、監視指導を効率的に実施する。</p>	<p>(1)重要監視対象施設に対する監視目標件数</p> <p>①高度な処理技術を要する製造施設 22施設×2回 44施設</p> <p>②広域に流通する食品等の製造施設 76施設×1回 76施設</p> <p>③大量調理施設等 ・給食施設 7施設×1回 7施設 ・その他(仕出し等) 13施設×1回 13施設</p> <p>④食品の流通拠点となる施設 9施設×2回 18施設</p> <p>⑤大規模な販売施設 21施設×3回 63施設</p> <p>(2)特別監視期間</p> <p>①春季行楽時の食品衛生強調期間 4月16日～ 4月26日</p> <p>②食品安全安心月間 6月 1日～ 6月30日</p> <p>③夏季食品一斉取締り月間 7月 1日～ 7月31日</p> <p>④食品衛生月間 8月 1日～ 8月31日</p> <p>⑤年末一斉取締り月間 食品・添加物等 12月1日～31日 食品等の表示 12月1日～31日</p> <p>(3)重点指導事項</p> <p>①不衛生、有害有毒な食品の排除 ②食品衛生法の規格基準の適合 ③食品等の適正表示 ④食品取扱施設の構造設備基準適合 ⑤衛生措置基準の遵守 ⑥自主点検記録表の作成保存 ⑦使用原材料の点検及び確認 ⑧食品の保管運搬の方法と汚染防止</p> <p>(4)食品の行政検査</p> <p>細菌学検査 126 件 理化学検査 76 件 残留農薬検査 8 件 放射性物質検査 7 件</p>	<p>(1)監視実施施設数</p> <p>① 34 施設</p> <p>② 121 施設</p> <p>③ 給食 8 施設 その他 22 施設</p> <p>④ 12 施設</p> <p>⑤ 67 施設</p> <p>(2)特別監視期間</p> <p>① 101 施設</p> <p>② 130 施設</p> <p>③ 336 施設</p> <p>④ 344 施設</p> <p>⑤ (食品・添加物等) 218 施設 (食品等の表示) 218 施設</p> <p>(4)食品の行政検査</p> <p>細菌学検査 111 件 理化学検査 59 件 残留農薬検査 8 件 放射性物質検査 7 件</p>

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績 (31年1月末時点)
2 食品衛生自主管理の推進	食品衛生協会に対する指導を実施する。また、食品の安全性確保のため衛生管理を推進し、秋田県版HACCPの導入を推進する。	<p>(1)食品衛生推進員活動の推進 目標巡回延べ人数 180人 (推進員59人)</p> <p>(2)食品衛生責任者養成講習会の開催 養成目標人数 78人 実施時期 7月</p> <p>(3)食品衛生責任者研修会の開催 研修目標人数 91人 実施時期 11月</p> <p>(4)食品等の自主的衛生検査の実施 目標件数 470件</p> <p>(5)腸内細菌検査の実施 目標件数 5,505件</p> <p>(6)食中毒警報の発令</p> <p>(7)食品安全施策の啓発事業への支援</p> <p>(8)食品調製業者連絡協議会活動の推進 ・食中毒予防啓発と食品衛生教育の実施</p> <p>(9)秋田版HACCPの推進 ・重点監視対象施設への普及・啓発 監視時に普及活動を実施 ・新規認証及び更新手続きまでの継続的支援の実施</p>	<p>(1)食品衛生推進員活動 巡回延べ人数 134人 巡回指導件数 1,043件</p> <p>(2)養成講習会の実施状況 養成人数 84人 実施時期 7月26日</p> <p>(3)研修会の実施状況 研修人数 84人 実施時期 11月21日</p> <p>(4)自主的衛生検査の実施状況 検査件数 320件</p> <p>(5)腸内細菌検査の実施状況 検査件数 2,507件</p> <p>(6)食中毒警報 6回 (うち、ノロウイルス注意報なし)</p> <p>(7)①食品衛生協会総会 平成30年5月21日 横手プラザホテル ②食品衛生指導員部会 総会・研修会 平成30年7月19日 44人 シャイニーパレス ③横手市内一斉巡回指導 2回 平成30年7月、11月</p> <p>(8)部会活動の実施状況 総会・食中毒予防祈願祭 平成30年6月12日 23人 研修会 平成31年1月17日 20人 計 43人</p> <p>(9)導入推進状況 ・秋田県版HACCP施設認証 管内 21施設25件 認証取得 参考： 全県 67施設83件</p>

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
3 食品安全啓発事業	消費者及び食品関係事業者等に対して食品衛生思想の普及を図る。	<p>(1)消費者に対する衛生思想の啓発普及</p> <p>①一日食品衛生監視の実施</p> <p>②食品安全地域懇談会の開催</p> <p>③手洗い教室</p> <p>④食品に関する相談窓口</p> <p>・食中毒予防、不良食品等</p> <p>・食品表示については、生活センター南部消費生活相談室との連携により対応にあたる。</p> <p>⑤情報の提供</p> <p>1) 食中毒予防チラシの配布</p> <p>2) 地域新聞、横手市報への関連記事掲載依頼</p> <p>3) 消費者等に対する食品衛生教育の実施</p> <p>(2)営業者等に対する衛生思想の啓発普及・食品衛生教育の実施</p>	<p>(1)消費者に対する衛生思想の啓発普及</p> <p>①・十文字町 1回実施 (平成30年8月2日)</p> <p>②食品安全地域懇談会の開催 1回実施</p> <p>・十文字町 1回実施(①と同じ)</p> <p>消費者(高校性等) 5名</p> <p>営業者(指導員) 8名</p> <p>行政(保健所) 3名</p> <p>③管内学校・事業所等手洗い教室 9回 281人</p> <p>④食品に関する相談 282件</p> <p>⑤情報の提供</p> <p>1) ノロウイルス予防、食中毒予防等について配布</p> <p>2) 食品衛生記事掲載依頼 なし</p> <p>3) 実施回数 4回 受講者数 200名 (手洗い教室を含む)</p> <p>(2)衛生教育の実施状況(総計)</p> <p>実施回数 20回 受講者数 772名 (手洗い教室を除く)</p>

(8) 狂犬病・死亡獣畜関係

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
1 狂犬病予防対策の推進	犬による狂犬病の発生を防止するため、市町村並びに獣医師会と連携し、登録及び予防注射を推進する。	(1)登録及び予防注射の推進 目標注射頭数 2,900頭 目標予防注射実施率 85% 啓発用リーフレット等の配布 (2)狂犬病予防担当者会議の開催	(1)登録及び予防注射の推進 登録原簿総数 2,870頭 予防注射頭数 2,270頭 予防注射実施率 79.1% 啓発用ポスター 20枚 (2)平成30年4月25日(水)開催 場所:横手保健所会議室
2 犬による危害防止対策・適正飼養の推進	犬による危害の発生を防止するため、捕獲等を実施するとともに、犬ねこの正しい飼い方について啓発を行う。	(1)犬取締り車、飼い犬指導車による取締り、指導 (2)広報活動 ・犬の適正飼養推進月間(5月) ・市広報等への掲載依頼 (3)「家庭犬のしつけ方教室」の開催 5月19日(土)開催 場所 平鹿地域振興局公用車庫 (4)「動物愛護フェスティバル」行事に対する協力 動物愛護週間9/20~9/26	(1)運行回数 33回 苦情・相談 53件 捕獲頭数 3頭 飼い犬返還頭数 2頭 引き取り頭数 3頭 (2)しつけ方教室 市広報1回 新聞1回 情報誌1回 (3)「家庭犬のしつけ方教室」 期日:平成30年5月19日(土) 場所:平鹿地域振興局公用車庫 参加:17人(犬14頭) (4)「動物愛護フェスティバル2018あきた」 期日:平成30年9月24日(月) 場所:遊学舎
3 死亡獣畜取扱場等に対する指導	死亡獣畜取り扱い場(死亡獣畜埋却場、一時保管庫)の適正な衛生管理指導	市と連携を図りながら監視指導を実施 死亡獣畜取扱場 1. 埋却場 3カ所 2. 一時保管 1施設	死亡獣畜取扱場監視 埋却場 0回 一時保管 1回

(9) 生活衛生関係

事業名	事業内容	30年度計画	30年度実績(31年1月末時点)
生活衛生関係営業施設の監視指導	衛生措置基準遵守のため、主要施設の監視指導を行う。	(1)監視指導施設 1. 旅館 51施設 2. 公衆浴場 29施設 (2)行政検査 1. レジオネラ属菌検査:3施設 2. 公衆浴場水質検査:2施設	(1)監視指導実施施設数 1. 23施設 2. 19施設 計 42施設 (2)行政検査 1. 3施設 2. 2施設